

「もう春が来る！」

後援会会長 滝口和喜(機械工学科四年)



「冬来たりなば、春遠からじ」

この一年間、後援会会員の皆様には格別なるご支援、ご指導を賜り有り難く感謝を申し上げます。又、「清祥のこととお慶び申し上げます。会長として早一年、役員・理事・事務局の皆様そして支部役員の方々とともに本年度の事業の遂行に微力ながら努力して参りました。各催事や各種会議の出席など、支部活動の強化及び本会最大事業の「地域別教育懇談会」「支部総会」が盛会裏に実施されました。特に当時教務部長の柳澤章先生と同行のホテルロビーで約2時間、大学・教育・後援会等についての話し合いは大変有意義でした。ご苦勞をおかけした役員並びに関係各位に深く感謝を申し上げます。残す事業としては、「特別事業」の男子ロッカー室のリニューアルで、

この春学期より学生が快適に利用できるよう工事を急ピッチで進捗されるようお願いしております。機会があれば是非ご覧ください。「新入会員説明懇談会」等を完遂し、任期も数ヶ月となり、課題も含めて次へと繋ぐ掛け橋となるよう努力して参ります。

さて、「もう春が来る！」三月は四年生の学位記授与式、つまり卒業ですね。おめでとございませう。そこで、門出とは今日からスタートだということ。こんな唄があります。「親という字をよく見てご覧、立って木を見るそれが親。苦勞しながら育てた木、今日咲く花が実になって孫という名の芽を出せと祈る幸せ、祝い唄、本当に親の気持ち伝わりますね。私見になりますが、親が子供に投資した見返りは望んでいません。ただ子供の成長の幸せと、その投資を子孫繁栄と地域・郷土に言えは四季感動の日本の平和と発展に貢献し、美しい日本そして地球を残してほしいと祈っているだけです。親や恩師更に本学全てに感謝し、建学精神をもう一度思い起こ

し、即戦力の社会人にと望み、言い訳は進歩の敵、反省は進歩の肥やし、なんてだろうは進歩の芽」ということを「贈る言葉」と致します。

平成16年度

新入会員説明懇談会

1月18日から3月14日にかけて下記の日程で「新入会員説明懇談会」が開催されています。この会は、4月の新入学を前にして、ご父母の様々な不安を少しでも解消してもらおうと、支部が主催して行っているもので、「地域別教育懇談会」と並んで支部の一大事業です。同じ父母の立場であるからこそ細かなアドバイスができるという後援会のメリットが大いに活かされているといえます。

● 平成16年度新入会員説明懇談会日程 ●

開催日	主催支部	開催会場	大学側出席者
1月18日(日)	静岡県	静岡商工会議所会館	栗本教務課長
"	岩手県	サザンパレス	入山学生課主任
1月25日(日)	近畿	尼崎市立小田公民館	飯島総務課員
"	青森県	青森グランドホテル	渋谷総務課長
"	福島県	清陵山倶楽部	倉島経理課長
"	新潟県	長岡グランドホテル	京野学生課長
"	北陸	富山電気ビルレストラン	高田学生課主任
"	千葉県	学友会館	松本入試室課長
"	東海	名古屋市民会館	藤田総務部長
"	東中国	津山国際ホテル	林総務課主任
2月1日(日)	群馬県	マーキュリーホテル	栗本教務課長
2月7日(土)	秋田県	協働大町ビル	藤田総務部長 京野学生課長
2月8日(日)	蔵王	オーヌマホテル	藤田総務部長
"	茨城県	三の丸ホテル	渋谷総務課長
2月29日(日)	西中国	アークホテル広島	渋谷総務課長
"	長野県	佐久平プラザ21	倉島経理課長
3月7日(日)	山梨県	味処 あいはら	渋谷総務課長
3月14日(日)	栃木県	ホテル丸治	藤田総務部長

当日は、大学より一名事務局を招き、下宿・アパート、奨学金、入学前に準備すること、入学後のスケジュール、学生生活や教学などについて詳しく説明をしています。特に最近では、地方から出てきた学生を狙った「悪徳商法」が目立ち、本学の学生の中にも実際に被害にあった例が少なくありません。これについても声を大きくして注意を呼び掛けました。参加した新会員からは、「とてもアットホームな会場で安心して良かったです」と好評でした。



青森県支部主催会場の様子

学長就任のご挨拶

学長 柳澤 章



後援会の皆さま方には、いつも大変お世話になっております。私は、昨年、平成15年12月20日、学長に就任いたしました柳澤章です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

私は、本学が開学した翌年の昭和43年に機械工学科の助手として奉職致しました。以来36年間、学生諸君と学び、語り、多くの時

間をとともに過ごしてきました。平成9年には、ベルギー企業との産学連携により合弁会社ベキニット株式会社を立ち上げ、その金属織維製品は自動車マフラーやレストランの厨房のエアフィルターなどに用いられています。

といった自己紹介はさておき、開学して間もないころの日本工業大学は、空っ風とともに砂埃が舞う中にボツンと校舎が建っているという、何とも殺風景な有様であったのを今も覚えております。それが、後援会の皆さま方の厚いご支援によって、緑豊かなキャンパスへと姿を変えたのをはじめ、学

生の福利厚生から教育研究にいたるまで、あらゆる面で支え続けて下さいましたことを感謝申し上げます。

さて、今日、教育界は大きな変化の時を迎えています。本学においても、よりいっそう質の高い教育を実現すべく、例えば、専門分野と数学・物理・英語などの基礎を有機的に関連づけて学ぶ「融合科目」を新設するなど、数々の取り組みを進めています。

全学の教職員が参加して行われた「大学自己点検・評価」も、その一つでした。大学の理念、教育内容と方法、研究の状況、学生生活、人的体制、財務、管理運営とあらゆる角度から自己検証をし、こうした活動を通じて問題意識の共有を図ることができました。私は、最前線に立って、本学の目的である、実学に根ざした教育・研究を推進していく覚悟です。

来年度は、専門職大学院を東京・神田に開設する計画です。実務経験を積んだ卒業生や他大学を出た人々が、技術面とともに、マーケティングや経営戦略、新規事業開発などの問題発見・解決能力を磨くことをめざします。

このように、様々な取り組みを推進し、学生諸君のものづくりマインドが地球規模のフィールドで結実することを願っています。どうぞ、「理解」「支援」くださいますようお願い申し上げます。

～ プロフィール ～

【略歴】

- 昭和18年 9月30日生
- 昭和41年 3月 千葉大学工学部機械工学科卒業
- 43年 3月 同大学大学院工学研究科機械工学専攻修士課程修了
- 43年 4月 日本工業大学助手
- 47年 4月 同大学講師
- 56年10月 同大学助教授
- 62年 3月 工学博士（東京大学）
- 62年 4月 日本工業大学学生部長補佐（昭和63年4月まで）
- 平成 3年11月 同大学教授（現在に至る）
- 7年 4月 同大学工学部機械工学科主任（平成10年9月まで）
- 7年 7月 学校法人日本工業大学評議員（現在に至る）
- 14年 6月 日本工業大学教務部長補佐（平成15年3月まで）
- 15年 4月 同大学教務部長（現在に至る）
- 15年 4月 学校法人日本工業大学理事（現在に至る）
- 15年12月 日本工業大学学長（現在に至る）

【学界及び社会における活動】

型技術協会理事・監事・名誉会員、精密工学会校間委員、精機学会委員、(財)素材センター委員、プラスチック成形加工学会主査、日本複合材料学会員、理化学研究所客員研究員、ベキニット(株)取締役会長

カナダ

海外セミナー参加者募集のご案内

ヨーロッパ

平成16年度 英会話カナダ特別セミナー

研修期間：2004年8月22日(日)～9月14日(火)【24日間】
 研修先：バンクーバー「プリティッシュ・コロンビア大学」
 参加費用：498,000円
 お問合せ：大学共通系英語科



本セミナーは正規の英語授業科目のため2単位を取得できます。

第32回 ヨーロッパ研修

研修期間：2004年9月10日(金)～9月22日(水)【13日間】
 研修先：パリ、ロンドン、ローマ、バルセロナ
 参加費用：398,000円
 お問合せ：大学学生課



支部長 だより

出会いと感謝の四年間

副会長・前北陸支部長 石灰昭光



日一日と麗かな春の日差しを感じる季節となり、改めて四年間の日本工業大学後援会活動に携わらせて頂いた日々を振り返っております。

日工大に御縁を頂いたのは、息子が在籍していた地元の工業高校で就職が進学かと家族で話し合い、大学進学を決めました。当時、当高校の教頭先生のご息子が日工大在学中で、教頭先生自身日工大後援会北陸支部長を務めておいででした。私もPTAのお世話をしていた関係で、先生と話す機会も多く、息子も日工大を含め何校か受験を考えていたようですが、強い薦めもあり本人自身将来も考え日工大進学を決めました。

▲牧野前東海支部長に感謝状を贈呈する
石灰副会長（東海支部総会にて）



その時、教頭先生から出来れば後援会北陸支部のお世話をと頼まれ、当時私自身「大学で後援会？PTA？」と感じながら言われるまま気楽に引き受けたのが最初でした。

まず、新人生説明会に親子三人で出席させていただき支部長さんから当時の役員の方々に「今度富山地区で役員に入ってくださいます石灰さんです」と紹介されたのであります。（北陸支部は富山・石川・福井三県にて結成）

入学が決まり即アバートを決めてに宮代へ行った折、大学の外見だけは見ましたが、四月に時間を作り夫婦で入学式に参加をさせていただき、整然と整った大学環境と大学の教育方針に感銘を受けて、息子にしっかりと頑張るようにと言いつつ残し帰宅したのを今でも昨日のように思い起こします。

しかし、九月開催の支部総会並びに地域別教育懇談会の個別面談で、教授先生から息子の成績を聞かされ本人も私達親も愕然としました。このままでは単位数が不足し進級できないとのこと、教授先生から息子の考えを聞いていただきアドバイスを受けました。息子に単位申告方法の思い違いがあったらしく、それからは単位を取り返すのに苦労していたようです。

が、あの時、本学並びに後援会が最も力を入れていられる事業である「地域別教育懇談会」制度がなく、他の大学同様学生任せであったら、どの様になっていたのかと思うと、無事本人の希望通り地元富山で就職も決まり、卒業の見通しがたった今、感謝の気持ちで一杯であります。

懇談会の有意義性を含め出席をお願いしているのですが、昨今の社会情勢下なかなか厳しいものがあるのも事実であります。

しかし、子供達の担当教授先生と直接会話が出来、アドバイスや将来のことなど気楽に話し合えることの有意義について理解をお願いしたいものであります。

又、私は四年間縁あって子供の進学を機に後援会本部理事として在籍させていただき、北は北海道から南は沖縄まで全国の多くの理事の皆さんと話を交わすことが出来、友人の輪が広がったこと、そして地方へ出張の折には連絡をとって再会し一献傾けたりと、正に出会いと感動を与えていただき、只々感謝の一念であります。

今後も微力ではありますが、何らかの形で日工大のお力になりたいと考えておりますのでよろしくお願いを致します。本当に有難う御座いました。

親も成長した
後援会活動

福島県支部長 大森照夫



福島県支部は、昭和五十五年に先輩会員の努力により支部を結成しました。当初一・二名の会員でスタートしてから現在一八四名と順調に増え続け、来年度は二百名の大台を越す状況です。

福島県は、常夏・常磐ハワイアンセンターのいわき市を中心とした浜通り地方・県都福島市と県の商業中心都市の郡山市の中通り地方・観光名所の会津地方と3プロックに分かれていて、常夏から豪雪とカラフルな東西に長い県です。

そんな地域事情のなかで少しでも多くの会員の皆さんが参加出来る様に工夫しながら、『地域別教育懇談会』『新人生説明会』を中心に、支部独自の若杉祭に合わせた『大学視察研修』などを企画し、支部会員の親睦と交流を図って来ました。

思い起こせば四年前、日工大のキャンパス内の桜が満開の入学式に初めて大学を訪れて、何と素晴らしい自然に恵まれた広々とした学校だろうと感激し、こんな素晴らしい環境の大学で勉学にスポーツに励める子供は恵まれていると安心した事を今でも忘れられませんが、後は子供の努力次第で、親は黙々と仕送りを続けて卒業を待つしか無いと思っていました。

ところが、他の大学にはあまり無い日工大後援会の諸取り組みを通じて、大学の教育方針そして直



▶懇親会は大切なコミュニケーションの場

接先生方のお話を聞いて、大学の現状と子供達の状態が解り、子供と会話が出来る、苦勞して仕送りしている親心を十分にカバーしてくれました。

これまでほとんどPTAの役員経験が無い私が「何かお手伝い出来れば」と気軽に支部の役員を引き受け、いつの間にか会員一八四名を抱える支部の支部長という大役を仰せつかりました。

仕事との調整や多くの会員の参加を得るにはどうすれば良いかなど苦勞はしていますが、支部と本部の役員の方々と、そして先生や後援会事務局の方々ととの交流を通じ、大学の発展と子供の成長を願う共通の思いにより、本当に楽しく親睦を深める事が出来ました。

日工大と後援会の皆様のお陰で、会社内での付き合いがいない



▶福岡県支部地域別教育懇談会の様子

私の世界観が広がり、子供の成長だけでなく親の私まで成長させて貰ったように感じています。

こんな素晴らしい日工大と後援会の更なる発展を願い、日本の産業発展の為に素晴らしい青年を育成し続けていたきたいと、今後とも期待しています。



▶大学視察研修は毎年恒例の行事

後援会支部活動について

前秋田県支部長 今野徳吉



早いもので支部役員の任務も終わるころとしております。思い起こせば、息子が高校三年生の時、進

学についていろいろ悩んでおりましたが、日工大卒の先生のアドバイスもあって、この大学に入学することとなりました。

私達親は、当時入学式前に支部総会と大学説明会があるとは知りませんでした。当時の事務局をしておられました松塚和明さんからの誘いもあって後援会の支部活動に参加することになりました。

さて、秋田県支部は、各支部の中でも最も早い二月の下旬に総会が行われます。ちょうどこの頃は、大雪の季節で、時には交通マヒになることもありましたので、後援会本部や大学側から来られた先生方には大変だったのではないかと思います。

事業の計画については、常に役員会を開催し、チームワークを大切にしました。また、飲んだ席の方がいいアイデア等が浮かぶ場合もありますので、必ず懇親会を開催しており、交流を深めております。

支部として一番大きな行事でもあります。地域別教育懇談会では、案内通知から参加者の把握、そしてホテルの手配、翌日の観光等、支部役員には大変苦勞をかけたと思っております。

また、同時に大学側と後援会本部の皆さんが、秋田まで来て大学の様子や成績について詳しく説明して頂き大変ありがたく思っております。

しかし、会員の中には、このよ



◀秋田県支部地域別教育懇談会の様子

うな後援会支部活動の趣旨を十分理解してもらえない方も一部ありますので、今後の役員の方には、できるだけ多くの人が参加できるように工夫をして頂きたいと思えます。

このような支部と本部との交流を深めている大学はあまり聞いたことがありませんので、今後も継続してご指導して頂きたいと思えますし、会員一同本当に感謝しております。

また、今年初めての試みでありましたが、兼子正生助教授と京野晴郎図書館事務課長さんのご協力を得て、大学内の食堂で学生さんの県人会も企画されました。学生にとっては、顔合わせになったのではないのでしょうか。この大学で学ぶことのすばらしさを今後の人生に活用していただきたいと思います。

この四年間、後援会長はじめ、



◀研修旅行(角館にて)

後援会事務局の皆様方には大変お世話になりました。今後も微力ながら、日本工業大学の発展のためにお手伝いできたらと思います。

秋田県支部総会開催

秋田県支部の総会が、新入会員説明懇談会と同日の二月七日に「協働大町ビル」において開催されました。新支部長には飛田敏氏(M3)が選出され、今野徳吉前支部長には、これまでのご尽力に対し、滝口会長より感謝状が贈呈されました。

リサイクルショップ 出品者募集中!

ご卒業を迎え、不要になった家具・家電類を新入生や在校生に再利用してもらいませんか? お問合せは「学生自治会学生環境推進委員会」まで。

TEL 0480-34-9765

http://nit.ii2.cc/iso/

申込締切: 3月18日まで

第20回記念定期演奏会



平成十五年十一月二十四日

(日)「春日部市民文化会館大ホール」において、日本工業大学吹奏楽団第20回記念定期演奏会が開催されました。今回は20回記念ということで、特別に午前と午後二部構成で行われました。滝口後援会会長も会場に足を運び、入場者数は延べ三千人を超えました。午前の部は、「ふれあいコンサート」と題し、子供からお年寄りまで誰もが知っている楽しい曲が目白押しで、最後に演奏された「世界に一つだけの花」では舞台と客



▶特別ゲストのソプラノ歌手持木文子さん



◀小さいお子さんから年輩まで幅広い客層が来場

延べ人数三〇〇〇超の観客を魅了!

席が一つになりました。また、元の舞踊会や小学校、養護学校の方々にもご出演いただきました。

午後の部は、「リクエストコンサート」と題し、アンケート結果から選曲したカルメンやグレンミラール、坂本九などバラエティに富んだ曲が演奏されました。そして午後の部の目玉ともいえるソプラノ歌手持木文子氏と特別混声合唱団との共演では、「吹奏楽と合唱の共演」が実現し、終始喝采を浴びました。

最後に今回の演奏会を開催するにあたり、後援会からは多大なご援助を頂きましたことをこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



菅原道真公を祀った天満宮の社殿

「天満宮例祭」 粛々と

二月二十一日(土)午前十一時より、大学構内にある天満宮神社境内において、「天満宮例祭」が挙行されました。

昨年はあいにくの氷雨模様でしたが、今年も例年にならば陽気に恵まれました。境内の梅も三分咲きとなり、春の訪れを感じさせてくれます。

当日は、滝口後援会長(天満宮崇敬会副会長)、学生代表ら総勢三十六名が列席、宮司さんが祝詞を唱え、学生諸君の安全と学業成就を祈願しました。

理事会報告

二月二十二日(日)に役員会・特別事業委員会・理事会が開催されました。当日は全国より六十八名の理事が出席し、「平成十五年度予算執行状況」「平成十六年度予算策定案」「平成十六年度理事銜」「特別事業」などについて話し合われました。

特別事業については、「学生のロッカー室改修」を平成十五年度と十六年度の継続事業として実施することが承認されました。次回の理事会は四月十一日(日)に開催の予定です。

第23回 成人式記念講演会

第23回



一月二十一日(水)、学生会主催による「第二十三回成人式記念講演会」が開催されました。今年のゲストは、「ロバート」だいたひかる」と「カラテカ」の人気お笑い



人気絶頂のお笑いコンビ「カラテカ」の2人

時々とした口調の毒舌が笑いを誘う「だいたひかる」さん

タレント三組。午後六時半の開演時間には、三百人余りを収容するホールは超満員となり、通路にも立見が溢れました。会場は、三百八十人を超える若い熱気と笑いで満ち溢れ、成人を迎えた学生諸君を大いに祝いました。

後援会では毎年、学部卒業生と新入生の全員に記念品を贈呈していますが、今年度より記念品の内容を改めましたのでお知らせいたします。まず、卒業生に対しては、新たにシステム手帳（NETロゴ入り）を贈呈します。そして、新入生に対しては、これまで卒業生に贈っていたオリジナルネクタイ（女子学生にはスカーフ）を贈呈します。なお、これまで新入生に贈っていた「校歌集CD」は大学より配付されることになりました。

新入生・卒業生への 記念品が新しくなりました。

か」という滝口会長の発案によるものです。また、大学院の卒業生にも新たに記念品（修士課程には電波目覚し時計、博士課程には名刺入れ）を贈呈することになりました。



今年度卒業生に贈呈するシステム手帳
(本革製、ポケットサイズ、ブラック)

これらの変更については、大学在籍中に様々な行事があるの、そのような場所では是非お揃いのオリジナルのネクタイを着用してもらいたい。また、卒業生には社会人として歩みだす門出に、システム手帳が相応しいのではない



『学生傷害保険』 について

お知らせ

大学の学生は毎年、正課・課外活動・通学中の傷害を補償し、実治療日数によって保険金が支払われる「学生教育研究災害傷害保険(保険料950円/年)」と、日常生活も含め24時間いつでも補償対象となる「学生団体傷害総合保険(保険料1,250円/年)」の2つの保険に全員加入しています。保険料は、授業料等と一緒に納めていただいています。この内、「学生団体傷害総合保険」について、平成16年4月から、医療実費の限度額が現行30万円から40万円に引き上げられます。(保険料はすえおき) 学生がケガをした場合は、1カ月以内に保険機関へ届け出ることになっていますので、早目に学生本人から学生課へ申し出て下さい。

死亡保険金	現行	56.3万円
	変更後	62.2万円
後遺障害保険金	現行	1.689万円～56.3万円
	変更後	2.488万円～62.2万円
医療費用(最高額)	現行	30万円
	変更後	40万円

後援会行事抄

平成十五年十一月二十八日(金)
後援会会報第六十四号発行
十二月二十日(土) 柳澤章教授が
学長に就任

- 平成十六年一月十一日(日) 大学・後援会・工友会・宮代会合同新春懇親会(東京ドームホテル)
- 一月十八日(日) 静岡県支部新入会員説明懇談会(静岡商工会議所会館)、岩手県支部新入会員説明懇談会(サザンパレス)
- 一月二十一日(水) 成人式記念講演会
- 一月二十五日(日) 近畿支部新入会員説明懇談会(尼崎市立小田公民館)、東海支部新入会員説明懇談会(名古屋市民会館)、青森県支部新入会員説明懇談会(青森ランドホテル)、福島県支部新入会員説明懇談会(清稜山倶楽部)、新潟県支部新入会員説明懇談会(長岡グランドホテル)、北陸支部新入会員説明懇談会(富山電気ビルレストラ)、千葉県支部新入会員説明懇談会(学友会館)、東中国支部新入会員説明懇談会(津山国際ホテル)
- 二月一日(日) 群馬県支部新入会員説明懇談会(マッキーホテル)
- 二月七日(土) 秋田県支部総会・新入会員説明懇談会(協働大町)

相談票		学科学年	
		学籍番号	
学氏名	生名	TEL	
会氏名	員名		
連絡先			

相談票をご利用下さい

後援会では会員各位にこの相談票を通じて、いつでも学生の成績・生活・就職等ご相談に応じられる窓口を開いています。右の票(便箋、ハガキでも結構です)に相談されたい事項や、ご意見、ご希望等ご記入の上、事務局宛にご送付下さい。可能な限り回答いたします。
ご意見・ご投書・ご寄稿もどしどしお寄せください。(事務局)

- 二月八日(日) 蔵王支部新入会員説明懇談会(オーヌマホテル)、茨城県支部新入会員説明懇談会(三の丸ホテル)
- 二月二十一日(土) 天満宮例祭、サービスセンター連絡協議会
- 二月二十二日(日) 役員会・理事会・特別事業委員会
- 二月二十九日(日) 西中国支部新入会員説明懇談会(アークホテル広島)、長野県支部新入会員説明懇談会(佐久平ラザール)
- 三月一日(月) 留学生別科修了式
- 三月七日(日) 山梨県支部新入会員説明懇談会(味処 あいばら)
- 三月十四日(日) 栃木県支部新入会員説明懇談会(ホテル丸治)

編集後記

長年本部事務局として本会の運営にご尽力賜りました鈴木昭正さんと(前総務部長)がこの三月末を以って退職されることになりました。長い間、本当に有難うございました。これからも益々お元気で活躍されますことをお祈り申し上げます。(I)